第42期　中間

ビジネスレポート

平成25年4月1日～平成25年9月30日

ワイエイシイ株式会社

東証1部　証券コード：6298

CONTENTS

株主の皆様へ 2

財務ハイライト 過去3年間の業績推移（連結） 3

営業状況 4

連結財務諸表 5

ネットワーク 6

会社概要 7

株主メモ 裏表紙

株主の皆様へ

代表取締役社長
百瀬 武文

株主の皆様におかれましては、平素よりワイエイシイをお引き立て賜りまして誠にありがとうございます。ここに第42期中間期ビジネスレポートをお届けいたします。

今年度の上半期における世界経済は、米国では緩やかな回復傾向が見られますが、欧州の財政問題による停滞、アジア地域の成長鈍化等、全般的に視界不良の状況にあります。一方国内経済については、経済指標等において改善傾向が見られ、上向き基調にありますが、今後実体を伴った本格的な回復が待たれる状況にあります。

このような環境下、当中間期においては、液晶関連分野、加熱処理分野およびクリーニング関連分野が堅調に推移する一方で、ハードディスク関連分野や半導体関連分野は低調に推移いたしました。

この結果当中間期の連結業績は、売上高83億82百万円（前年同期比23.8%減）、営業利益40百万円（同88.8%減）となりました。

当社グループでは、現在売上1,000億円の優良企業を目指し、『ハイステップ712運動』を展開し、社員全員参加の会社経営を進めております。

今後とも当社グループは、研究開発型企業として、ハイテクおよび環境関連製品の開発に努める一方で、M&Aや事業提携を積極的に展開し、取扱製品の拡大に努めてまいります。ハイテク機械を中心とした幅広い分野で事業展開を図ることにより、強い企業体質を確立し、株主の皆様のご期待に沿える優良企業を目指してまいります。

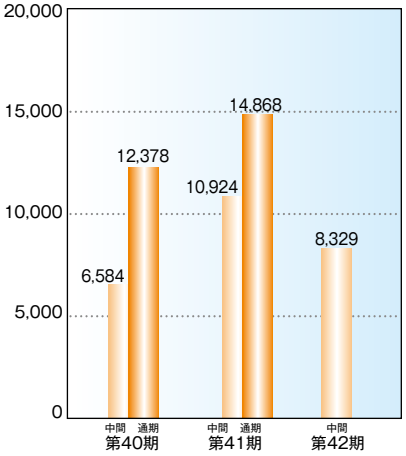
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

配当金について

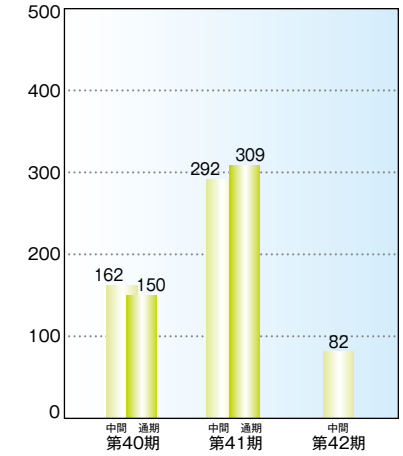
配当金につきましては、中間期業績や財務状況等を総合的に勘案し、1株につき10円とさせていただきました。

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結)

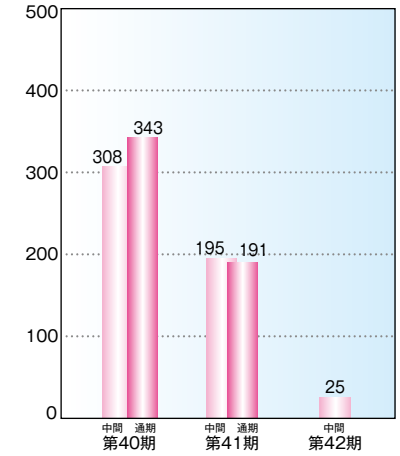
売上高 (単位:百万円)



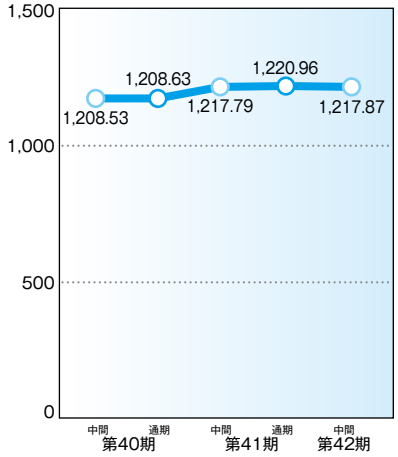
経常利益 (単位:百万円)



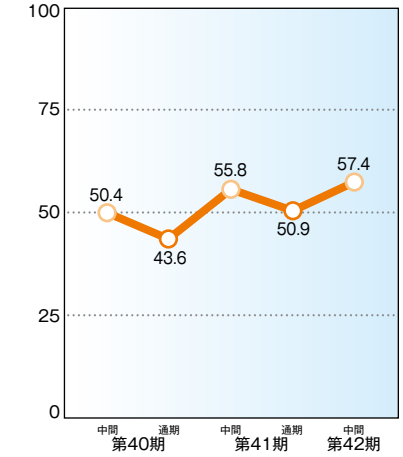
当期純利益 (単位:百万円)



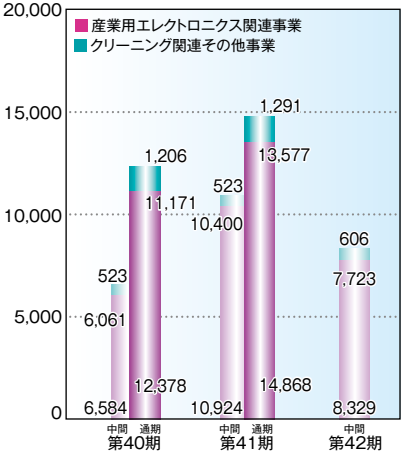
1株当たり純資産額 (単位:円)



自己資本比率 (単位:%)



セグメント別売上高 (単位:百万円)



■ 事業概況

当中間期における世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続いているものの力強さに欠き、欧州では財政問題の影響により停滞しております。中国や新興国では成長鈍化が長期化する傾向にあり、全般的に視界不良の状況が続いております。

日本経済においては、金融・財政政策による円高の是正や株価の上昇傾向に伴い、経済指標においても改善が見られますが、今後実感を伴う回復が待たれる状況にあります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、緩やかながらも成長し続ける中国及びアジア地域を中心に営業展開を図るとともに、収益の確保にむけて原価低減及び経費削減を推進してまいりました。

この結果、当中間期の業績は、売上高83億29百万円（前年同期比23.8%減）、営業利益40百万円（同88.8%減）、経常利益82百万円（同71.7%減）、四半期純利益25百万円（同87.0%減）となりました。

【セグメント別の状況】

■ 産業用エレクトロニクス関連事業

ハードディスク関連装置分野では、パソコンからウルトラブック・タブレット端末等への移行によりHDD需要が停滞した影響が大きく、UVキュア装置や搬送装置等の拡販に努めたものの、業績は低調に推移しました。

半導体関連装置分野では、パソコンやデジタル家電向けの需要が低迷し、設備投資が先送りの状況が続き、業績は低調に推移しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォンやタブレット端末用の中型プラズマエッチング装置やアニール装置の国内外への拡販により、業績は堅調に推移しました。

加熱処理装置分野では、電子部品・自動車関係用加熱装置等が一部先送りとなりましたが、液晶用加熱装置の販売促進により、業績は堅調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、海外における高効率パネル用装置の販売に努め、業績は低調なものから回復基調に転じました。

この結果、当セグメントの売上高は77億23百万円（前年同期比25.7%減）となり、セグメント利益は2億58百万円（同55.0%減）となりました。

■ クリーニング関連その他事業

クリーニング関連装置分野では、国内のクリーニング需要の減少傾向が続く厳しい状況でしたが、欧米及び中国において営業活動の強化を図り、業績は順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は6億6百万円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益は45百万円（同11.1%増）となりました。

■ 経営の現状と見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、企業の在庫調整や製造拠点の再編成等による生産設備への投資の減少・凍結に伴い、今後の経営環境はより厳しいものと推測されます。また、高騰している原油・原材料価格もさらに上昇する傾向にあり、製造コストが増加することも予想されます。

こうした状況において当社グループは、『環境にやさしい装置』を事業のテーマとして、クリーンエネルギー分野で付加価値の高い製品の開発に努め、製品の省エネ化にも積極的に取組み、多様化する顧客ニーズに応えるため、事業部間の連携を強化し、製品群の拡大を図り、業界の好不況に左右されにくい企業体質を目指してまいります。さらに、国内外の協力会社との生産体制の連携を密に取り、フレキシブルな生産体制の構築を図ってまいります。

通期の業績見通しにつきましては、内外の景気動向を踏まえ、売上高150億円（前期比0.9%増）、営業利益2億円（同18.6%減）、経常利益2.3億円（同25.6%減）、当期純利益1.3億円（同32.1%減）を見込んでおります。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期中間 平成25年4月1日～平成25年9月30日	前期中間 平成24年4月1日～平成24年9月30日
【資産の部】		
流動資産	13,723	14,969
現金及び預金	6,439	6,638
受取手形及び売掛金	5,646	6,777
たな卸資産	1,287	1,287
その他	349	265
有形固定資産	3,794	3,911
無形固定資産	110	114
投資その他の資産	1,305	457
資産合計	18,934	19,452
【負債の部】		
流動負債	4,775	5,253
支払手形及び買掛金	2,996	3,231
短期借入金	998	1,066
賞与引当金	150	142
未払費用	278	224
その他	350	587
固定負債	3,132	3,187
社債	1,000	1,036
長期借入金	1,299	1,385
退職給付引当金	683	652
その他	149	113
負債合計	7,907	8,441
【純資産の部】		
株主資本	10,955	11,112
その他の包括利益累計額	△95	△250
新株予約権	3	—
少数株主持分	164	149
純資産合計	11,026	11,011
負債純資産合計	18,934	19,452

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

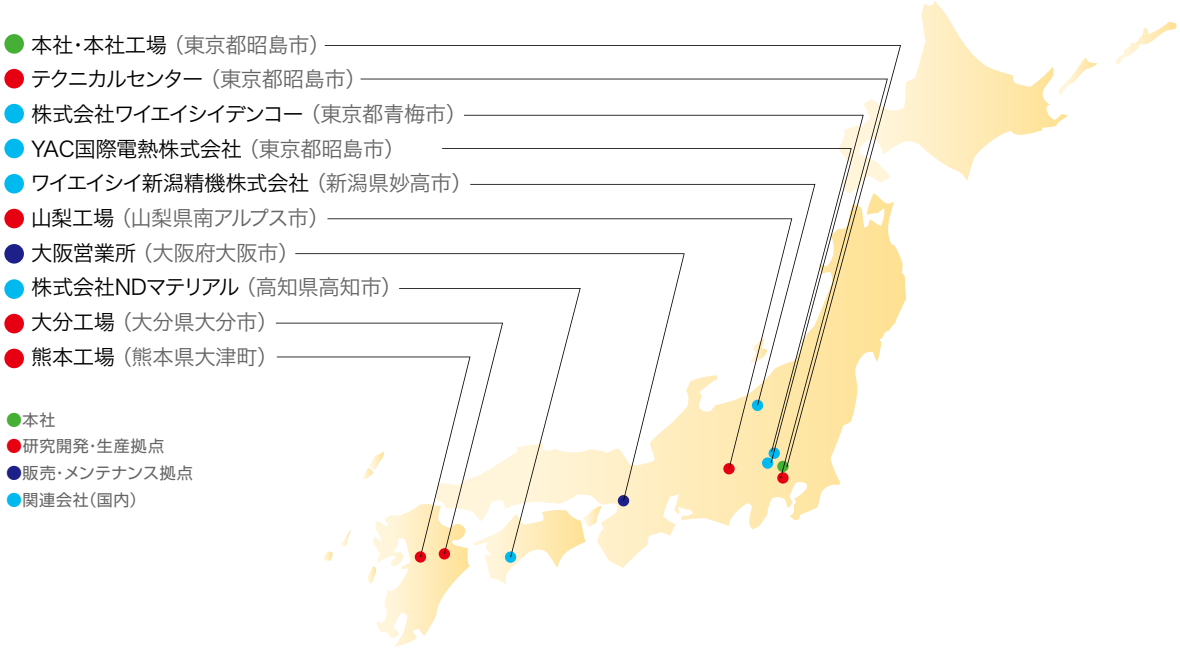
科目	当期中間 平成25年4月1日～平成25年9月30日	前期中間 平成24年4月1日～平成24年9月30日
売上高	8,329	10,924
売上原価	7,122	9,475
販売費及び一般管理費	1,166	1,087
営業利益	40	360
営業外収益	62	20
営業外費用	20	89
経常利益	82	292
特別利益	0	0
特別損失	1	4
税金等調整前中間期純利益	81	287
少数株主損益調整前中間期純利益	31	189
中間期純利益	25	195

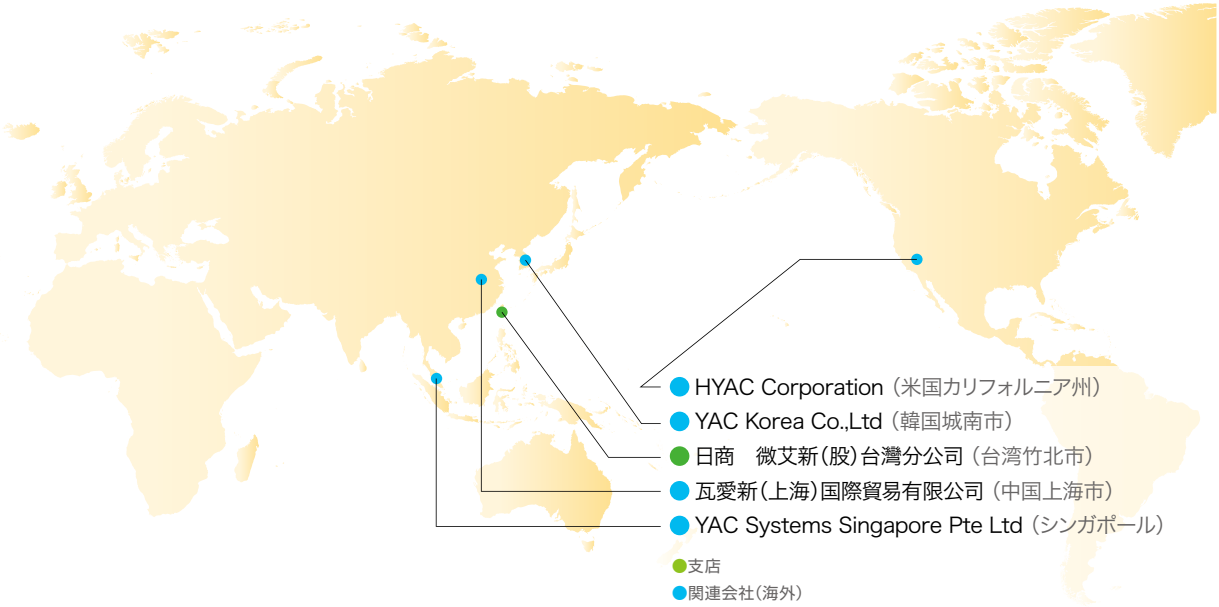
中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期中間 平成25年4月1日～平成25年9月30日	前期中間 平成24年4月1日～平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△856	△1,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△830	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△780	△876
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	△32
現金及び現金同等物の増減額	△2,371	△2,097
現金及び現金同等物の期首残高	8,761	8,637
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,390	6,540

ネットワーク


本社・本社工場（東京都昭島市）
テクニカルセンター（東京都昭島市）
株式会社ワイエイシイデンコー（東京都青梅市）
YAC国際電熱株式会社（東京都昭島市）
ワイエイシイ新潟精機株式会社（新潟県妙高市）
山梨工場（山梨県南アルプス市）
大阪営業所（大阪府大阪市）
株式会社NDマテリアル（高知県高知市）
大分工場（大分県大分市）
熊本工場（熊本県大津町）
本社
研究開発・生産拠点
販売・メンテナンス拠点
関連会社（国内）


HYAC Corporation（米国カリフォルニア州）
YAC Korea Co.,Ltd（韓国城南市）
日商　微艾新（股）台灣分公司（台湾竹北市）
瓦愛新（上海）国際貿易有限公司（中国上海市）
YAC Systems Singapore Pte Ltd（シンガポール）
支店
関連会社（海外）

会社概要 （平成25年9月30日現在）

商号	ワイエイシイ株式会社
英文表示	Y.A.C.CO.,LTD.
本社	東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
設立	昭和48年5月11日
資本金	2,756百万円
従業員数	191名（出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず）
事業内容	次にあげる自動機械の設計・製造・販売ならびに装置開発を行っております。 ●産業用エレクトロニクス関連事業 プラズマドライ・ウェットエッチング装置／精密熱処理炉／ハードディスク用バーニッシュ装置／クリーン搬送システム／ICハンドラー／平面発光ランプエミッター／太陽電池製造装置 ●クリーニング関連その他事業 自動包装機／シャツ用・ウール用プレス機／全自動立体分配システム

役員・執行役員 （平成25年9月30日現在）

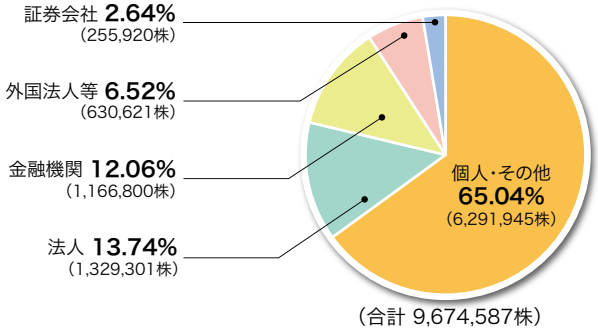
代表取締役社長	百瀬　武文
常務取締役	佐藤　康男
常務取締役執行役員	伊藤　利彦
常務取締役	宮本　忠泰
取締役執行役員	和田　貢
取締役執行役員	大福　芳弘
取締役執行役員	副島　幸雄
常勤監査役	東田　明
監査役	勝間田　武司※
監査役	石田　祥二※
執行役員	西原　宗久
執行役員	曽根田　栄悦
執行役員	寺本　和政
執行役員	野口　武史
執行役員	村野　恒利

※社外監査役

株式の状況 （平成25年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数		34,388,000株
発行済株式の総数		9,674,587株
当期末現在の株主数	5,089名	
個人・その他（注1）	4,928名	6,291,945株
法人	40名	1,329,301株
金融機関	27名	1,166,800株
証券会社	41名	255,920株
外国法人等	53名	630,621株

所有株式数分布状況 （平成25年9月30日現在）



（合計 9,674,587株）

大株主（上位10名）（平成25年9月30日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）（注2）
株式会社モモタケ	1,220	13.67
ビービーエイチ（プリンシパル）フォー（オール）フィデリテイ（セクター）ロー（サブポートフォリオ）プライスド ストック ファンド	300	3.36
百瀬 武文	280	3.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	195	2.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	148	1.66
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	80	0.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口1）	80	0.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口6）	68	0.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口3）	64	0.71
東京海上日動火災保険株式会社	61	0.69

※当社は、自己株式を755,317株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
（注1）従業員・自社名義株式を含みます。（注2）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目１０番１１号 TEL ０１２０―２３２―７１１（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載ＵＲＬ　http://www.yac.co.jp/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ワイエイシイ株式会社
〒196-0021　東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL（042）546-1161（代表）　FAX（042）546-1107
URL　http://www.yac.co.jp